

国際化学肥料ニュース（2024年4月）

肥料業界の2024年4月動態

- * 4月第1週（1～7日）の尿素国際相場は下落しつつある。主な原因はインド RCF 社の3月27日に開札された尿素的国際入札に19社が応札、応札数量315.16万トンだが、購買数量が50万トン未満とされて、中東、北アフリカとロシア産尿素がだぶつき状態となった。また、アメリカや南米など尿素輸入大国も動きが鈍い。ロシア尿素的 FOB 価格がすでに300ドル/トン以下に下がり、中東尿素的 FOB 価格が320ドル/トンとなった。CFR ブラジル価格も3ヶ月ぶりに330ドル/トン未満に下がった。

- * 4月12日、中国税関は関係者に「4月12日から8月31日まで、尿素輸出に関する法定検査が再開される。検査を行ってから10営業日以内に結果を出す」と通達した。また、同じ日に中国化学工業協会も窒素肥料メーカーと貿易商社に4月15日から中国税関に尿素的輸出法定検査を申請することができると通知した。

- * 3月15日発表、3月27日に締め切りのインド RCF 社の尿素的国際入札の結果が公開された。19社が応札、応札数量315.16万トン、最低応札価格は CFR 東海岸347.7ドル/トン、CFR 西海岸339.0ドル/トンである。RCF は最終的に34万トンの購入を契約し、予測の100～150万トンより大幅に減らした。

- * 中国税関の速報によれば、2024年3月中国化学肥料輸出量196万トン、そのうち尿素4200トンしかなく、硫安125.11万トン、DAP2.61万トン、MAP380トン、尿素とりん安の輸出制限がはっきり表れた。2024年第1四半期の化学肥料輸出量が11%減の496万トン、金額としては52.1%減の10.08億ドル。その内訳は尿素が95.1%減の2.58万トン、硫安が11.1%増の309.83万トン、DAPが77.7%減の14.13万トン、MAPが81.3%減の9.99万トン。
2024年3月の中国化学肥料輸入量131万トン、そのうち塩化加里120万トン、NPK化成肥料9万トン。第1四半期の化学肥料輸入量が47%増の417万トン、金額としては12.1%減の13.97億ドル。その内訳は塩化加里が49.2%増の384万トン、NPK化成肥料が34.8%増の28万トン。

- * 中国化学肥料の四半期の国際貿易金額として17年ぶりに赤字を生じた。2001年中国がWTOに加盟する前にずっと化学肥料の輸入国であったが、WTOを加盟してから外国技術と設備を積極的に導入して化学肥料産業を飛躍的に発展させ、2007年から輸出金額が初めて輸入金額を逆転し、化学肥料の貿易収支に黒字となり、2023年まで17年連

続黒字である。しかし、国内肥料の安定供給という名目で2023年11月から尿素とりん安（DAP、MAP）の輸出を厳しく規制し、輸出がほとんど止まった状態となった。その影響を受け、2024年第1四半期の化学肥料貿易収支は17年ぶりに赤字となった。

* 4月17日に公開されたEU統計局のデータによれば、EUが2月にロシア産化学肥料52.13万トン、金額では1.674億ユーロを輸入した。数量では2022年3月ロシアのウクライナ侵攻以来に最大で、金額では2022年12月からの最高値である。

* 4月第2週（8～14日）の尿素国際相場は大幅に悪化した。最大の原因はインドRCF社が3月27日に開札された尿素国際入札に34万トンしか契約せず、尿素の国際市場を混乱させ、期待されている中東とロシア尿素が市場に安値で売出され、国際価格を引き下げた。

この週のFOB価格は中東産大粒尿素が295～310ドル/トン、エジプト産大粒尿素も310～320ドル/トンで売り出した。一番影響を受けたのはナイジェリア産大粒尿素で、4月9日に2ロットそれぞれ3万トン尿素の入札を行ったが、応札者が現れず、4月11日にFOB255ドル/トンで再び売り出した。一方、ブラジル向けの大粒尿素はCFR290～300ドル/トンまで下落した。

* インドからの消息によれば、インドと世界の大手加里メーカーとの間に行っている2024年塩化加里輸入基本契約の交渉は大詰めを迎え、4月下旬～5月上旬に締結することになる。塩化加里の国際相場の弱気を受け、基本契約ではCFR280～290ドル/トンで決定されるうわさがある。

* ブラジルの国営石油会社Petrobras社は子会社Araucária NitrogenadosのParaná州にあるAraucária工場の稼働再開を決めた。Araucária工場は年間生産能力アンモニア47.5万トン、尿素72万トン、2020年から休止状態となっている。2023年、Petrobras社は戦略ガイドラインの見直しを行い、肥料生産への投資が再びポートフォリオの一部となった。化学肥料分野への再参入の第1段階では、Araucária工場を再構成し、業務内容を統合することである。

* 世界の窒素肥料市場が3月上旬から7週連続下落しつつある。中東と北アフリカ産尿素のFOBスポット価格が300ドル/トン以下となり、2月末と比べて約100ども下落した。インドの尿素国際入札の不調で、中東産大粒尿素の5月出荷分はすでにFOB280ドル/トン台、ロシア産小粒尿素の中南米向けFOB価格が200ドルの半ば台で買手を探している。それに加え、中国尿素が国際市場に回帰する動きがあり、5月の市況はさらに悪化する可能性がある。

- * 中国国家统计局の最新データによれば、2024年第1四半期（1～3月）の化学肥料生産量（N、P₂O₅、K₂O換算、以下同）が9.0%増の1493.2万トン、3月の生産量が6.5%増の542.2万トン。
一方、中国政府農業農村省は2024年の中国化学肥料需要量約5046万トン、そのうち窒素肥料2565万トン、りん酸肥料1174万トン、加里肥料1307万トンと予測されている。
- * 4月15日から中国尿素の輸出法定検査が再開されることに伴い、多くのメーカーと商社が一斉に輸出法定検査を申請し、その数量が数100万トンに達し、その一部は輸出先がまだ決まらない状態での虚偽申告が発見された。4月22日、中国窒素肥料工業協会は会員企業に対して、輸出法定検査を申請する前に正式の輸出契約を締結して、契約に輸出数量、価格、代金の前払い、船のスケジュール、到着港（国）などを明記して、前払い代金を受け取ってから法定検査を申請すること、虚偽の申請を速やかに取り下げること、法定検査合格後30日以内に輸出することなどを要求してきた。
- * 中国税関は4月12日から尿素輸出の「法定検査」を再開させたと発表したが、多くのメーカーと商社が一斉に輸出法定検査を申請し、その数量が数100万トンに達し輸出先がまだ決まらない状態での虚偽申告も発見された。4月19日、中国税関は急遽尿素輸出の「法定検査」を一時停止することを所属下部税関に通知した。
- * 4月第4週（22～28日）の尿素国際相場は8週間ぶりに下落を止めた。東半球ではインドネシアのKaltim社は4月22日に締め切った尿素の販売入札にFOB305ドル/トンで2件それぞれ3万トン大粒尿素をオーストラリアに販売した。また、カタールのQatar Energy社はFOB290ドル/トンで3万トン尿素を販売したことで、中東尿素のFOB価格が285～295ドル/トンに回復した。西半球ではCFRブラジル310～320ドル/トンに維持し、アメリカのFOB Nola 価格が280～315ドル/トンに安定している。EUも尿素の需要が現れ、EU向けのエジプト大粒尿素はFOB302ドル/トンに上昇し、2週間ぶりに300ドル台に回復した。
- * FAIの最新データによれば、3月のインドDAP生産量が41%減の21.89万トン、輸入量も54%減の20.1万トン。DAP生産量が急減した原因は、イエメンフーシ派の紅海での商船襲撃により、モロッコやヨルダンからの粗りん酸輸入量が大幅に減少した。ただし、インド2023年度（2023年4月～の2024年3月）のDAP生産量が1%減の429万トン、輸入量が15.4%減の557万トンにとどまり、3月末の国内DAP在庫量が約200万トンあり、6月からのモンスーン（Kharif）の農業需要に満たすことができるといわれる。

- * 4月最終週（4月29日～5月5日）の尿素国際市場は再び下落に転じた。東半球では、インドネシア大粒尿素はFOB306ドル/トンでオーストラリアに8.5万トン、カタール尿素もFOB290ドル/トンで輸出した。インドは新規尿素プラントの稼働により、輸入尿素への依存度が大幅に下がったことで、5月出荷の中東大粒尿素の最新FOB価格はすでに285ドル/トン以下となった。西半球ではロシア産尿素のFOB価格はすでに230ドル/トン台まで下がっている。通常、ヨーロッパとアメリカの需要は春シーズンが終わりに近づくにつれて減退し、南米では需要がまだ発生していないため、世界の尿素貿易は6～8月が最も低迷する。
- * ネパール政府は6万トン化学肥料を輸入するためにすでに150億ネパールルピーの予算を用意すると発表した。昨年、ネパールはインドを通じて、42.6万トン化学肥料を輸入して、その金額は405億ネパールルピーに達した。ネパール国内には化学肥料工場がなく、毎年数10万トン化学肥料輸入せざるを得ない。ネパール国営の石油会社（NOC）は1000億ルピーの外国資金を導入して、国内に尿素工場を建設する計画を立てている。

大手各社の営業業績

- * ノルウェーのYara社は2024年第1四半期の業績を発表した。肥料部門ではアンモニア販売量が8%増の43.3万トン、肥料販売量が12.9%増の525.3万トンだが、販売価格の急落により、売上高が20.3%減の33億1500万ドル、EBITDAが11%減の4億3500万ドル、純利益が84.8%減の1600万ドルしかない。

肥料資源の探索と肥料プラント新規建設

- * ブラジルのアマゾン州環境保護協会（IPAAM）はBrazil Potash社がアマゾン州に計画しているAutazes Potash Projectの鉱山開発ライセンスを与え、建設開始を許可したと発表した。当該プロジェクトはアマゾン川上流のAutazes市から約30kmのところであり、鉱床面積約155km²、鉱脈が地下680～860mのところであり、加里鉱石層の平均厚さ2.07m、すでに究明された加里資源量8700万トン、推定加里資源量約4億8000万トン、商業的採掘可能な資源量が塩化加里換算で約4700万トンとされている。当該プロジェクトが完成後、年間240万トン塩化加里を生産し、ブラジル国内加里需要量の約25%を満たすことができる。
- * オーストラリアとイギリスのBHP社の取締役会はカナダのJansen加里プロジェクト第2期工事に49億ドルを投資して、生産能力を拡張させることを許可した。Jansen加里プロジェクトはSaskatchewan州にあり、すでに57億ドルを投資して、年間生産能

力 415 万トンの第 1 期工事が 2026 年に完成、稼働し始まる予定である。年間塩化加里生産能力 435 万トンの第 2 期工事は 2023 年から着工し、6 年の工事を経て 2029 年に完成、稼働する計画である。Jansen 加里プロジェクトが完成すれば、BHP は世界第 5 位の加里メーカーとなり、カナダの加里生産量も年間を超える。

* 2024 年、中国を除く各国が計 684 万トンの新規尿素プラントが完成・稼働する予定である。下表はその尿素新設プラントの一覧を示す。

プラント名 (会社名)	所在国	年間生産能力(万トン)	完成予定
Ghorasal Polash Urea Ferts	バングラデシュ	100	2024 年
Pro Agronidustria 2#	メキシコ	50	2024 年
Talcher Fertilizers (TFL)	インド	127	2024 年 9 月
Shchekinoazot	ロシア	70	2024 年
Togliattiazot	ロシア	70	2024 年
EuroChem	ロシア	140	2024 年
BVFCL	インド	127	未定
合計		684	

また、中国は 2024 年に約 437 万トン尿素の新規生産能力が増加する見通しである。

下表は中国尿素新設プラントの一覧を示す。

会社名	所在地	年間生産能力	完成予定
甘肅劉化	甘肅省永靖県	35 万トン	2024 年 3 月
建元煤焦化	内モンゴルオトク旗	40 万トン	2024 年 6 月
華魯恒昇	湖北省荊州	52 万トン	2024 年 12 月
安徽泉盛	安徽省定遠県	40 万トン	2024 年 12 月
江蘇晋煤恒盛	江蘇省新沂県	60 万トン	2024 年 12 月
億鼎生態	内モンゴルオールドス市	52 万トン	2024 年 12 月
河北正元水素エネルギー	河北省滄州市	52 万トン	2024 年 12 月
陝西煤化化工	陝西省渭南市	80 万トン	2024 年 12 月
山東晋控日月新材料	山東省済南市	26 万トン	2024 年 12 月

* インドの Coromandel International 社はインド東南部のアーンドラ・プラデーシュ州 Kakinada にリン酸・硫酸複合施設を建設することを発表した。当該施設は硫酸を使って、りん鉱石からりん酸を抽出し、DAP や NPK などの原料とする。設計生産能力は 1800 トン硫酸/日と 650 トンりん酸/日で、総投資額 100 億インドルピー、2 年以内に完成するという。

* アメリカの Itafos 社はアイダホ州の Conda リン酸肥料プロジェクトに関する最新の技術報告書を提出した。その要旨は下記の通りである。

1. H1SMC および NDR (総称して H1/NDR) のりん鉱石資源量の推定値は、P₂O₅ 24.3%~約 27.0%換算で 3,810 万トンから 4,050 万トンに増加した。

2. Conda 全体の推定りん鉱石埋蔵量の合計は、P₂O₅ 26.6%換算で 2019 年 7 月 1 日時点の 1,440 万トンから、2023 年 7 月 1 日時点の 3,370 万トンに増加した。

3. 鉱山は 2037 年までの採掘が可能となる。

その他

- * アメリカ政府は再び加里とりん鉱石を内務省の重要鉱物資源リストに入れることになった。内務省の声明によれば、鉱物資源は国家安全、経済への影響及び重要なインフラに於ける役割によって重要度が異なり、重要度の高い鉱物はリストに入れて保護する必要がある。加里とりんは現代農業生産に欠かせない養分で、アメリカの加里消費量の約 90%、りん鉱石消費量の約 10%が輸入に依存しているため、重要鉱物資源リストに入れる必要があるという。

- * モロッコの OCP 社はオーストラリアの Fortescue Energy 社と合弁でモロッコにグリーン水素、アンモニア、肥料を生産し、モロッコ、ヨーロッパ、および国際市場に供給することを発表した。合弁会社はモロッコにおける 4 つの基礎プロジェクトの計画案を提示した。
 - ① 再生可能エネルギーの生成、電気分解、アンモニア合成、肥料生産を含む大規模な統合グリーンアンモニアおよびグリーン肥料生産能力。
 - ② 環境に優しい技術の開発と設備の製造。
 - ③ ムハンマド 6 世工科大学 (UM6P) の近所に研究開発および技術センターを設置して、再生可能エネルギー、グリーン水素、鉱物加工の研究を行う。
 - ④ 主要なテクノロジーへの投資を促進するためにコーポレートベンチャーキャピタルファンドと協力する。

- * アルゼンチンの経済大臣 Luis Caputo 氏は政府が尿素と UAN（尿素硝安液肥）の輸入関税を撤廃することを考えていると X（旧ツイッター）に発表した。現在、アルゼンチンは尿素に 5.4%、UAN に 3.6%の輸入関税を徴収している。アルゼンチンは国内の尿素メーカー 1 社だけで、年間生産能力 132 万トンしかなく、不足分が輸入に依存して、ブラジルとメキシコに次ぐ南米第 3 位の尿素輸入大国である。2021 年に 155 万トン、2023 年に 82.5 万トン尿素を輸入した。

- * カナダの Global Affairs Canada がアフリカ肥料融資メカニズム (AFFM) に 730 万カナダドルの資金を提供することを表明した。肥料融資メカニズムは、アフリカの持続可能な農業生産性と小規模農家、特にアフリカ全土の女性と若者の生計を強化するために、肥料輸入業者やアグリゲーターに信用を与え、肥料製品にアクセスできるようになる。また、土壌の健康状態を改善し、農家に技術支援を提供する取り組みも強化される予定である。

- * 4月30日、アメリカの Mosaic 社とサウジアラビアの Ma'aden 社は Ma'aden 社のリン酸塩事業を強化するために株式購入およびサブスクリプション契約を締結したと発表した。この内容は、Mosaic 社が Ma'aden、Mosaic、サウジ基礎産業公社の合弁事業投資である MWSPC リン酸塩会社の全株式を Ma'aden に売却して、引き換えに Ma'aden 社の新規発行株式と交換して、1億1,100万株を持つようになる。この取引が完了すると、Ma'aden 社の MWSPC 株保有率は 85%に増加する。MWSPC リン酸塩会社はりん安（DAP と MAP）の生産能力は年間 300 万トンで、世界有数のりん安メーカーである。

- * デンマークの Topsoe 社はアメリカルイジアナ州の新しい低炭素アンモニアプラントのフロントエンドエンジニアリングおよび設計（FEED）をサポートするためのライセンスおよびエンジニアリングに関して、アメリカの CFIndustries 社と契約を締結した。CF Industries 社は、アンモニア販売大手の三井物産株式会社と協力してブルーアンモニアが生成されるためにこのプロジェクトを推進している